

第1学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成27年6月10日(水) 5校時 1年1組教室

2. 議題「もっと ばわあぜんかいしゅうかいをしよう」

学級目標： パワーぜんかい やさしいクラス ・だれにでもやさしくできる子 ・最後まで一生懸命に取り組む子
--

3. 議題について

(1) 児童の実態

小学校に入学して2か月が過ぎ、友だちとの関わりも増えてきた。クラスの仲間という意識も生まれ、クラスの友だちと楽しいことをたくさんやりたいという思いが感じられる。学習中は、手を挙げて発言しようとする子もいるが、自分の考えを聞いてもらいたいという思いから、手を挙げずに発言してしまう子も見られる。友だちの考えに耳を傾けられるように指導しているところである。

学級会を始めるにあたって、まず6年1組の学級会を見る機会を設け、イメージをもつことができた。短い時間だったが、学級会はみんなで意見を出し合い、みんなで決めていくものだということを理解できたようである。その後、クラスに戻ると「すぐに学級会をやってみよう」という楽しそうな声が多く聞かれ、学級会への意欲の高まりを感じることができた。

1回目と2回目の学級会は、司会などを担任が行い、話し合いのやり方を学んできた。1回目の「ばわあぜんかいしゅうかいをしよう」では、柱1の「何をするか」について、たくさんの意見が出て、ハンカチ落としとじゃんけん列車に決まった。話し合いのめあてが、「ともだちともっとなかよくなることをかんがえよう」だったため、柱2でやり方を話し合う時には、「声をかける」など、めあてを考えた意見も出された。ふり返りでは、「学級会がこんなに楽しいとは思わなかった」「遊びが決まってすっきりした」「早くやりたい」など、前向きな感想がたくさん出て、実践を楽しみにしている様子が見られた。

2回目の「あかしろ なかよしうんどうかいをしよう」は、運動会では赤組と白組で競い合ったので、クラスで運動会をやる時は、赤組と白組が一緒にできることをしたいという思いから出てきた。そこで、話し合いのめあてを「赤組と白組がなかよくできることを考えよう」とした。柱1の「何をするか」を比べる段階で「徒競走とリレーを合体できないか」と考え、実際に教室の中でやってみながら意見を交わした。たくさんの意見が出て、この議題に対して真剣に考えている様子が見られた。柱2の「どうやってやるか」については、1回目の集会の経験を活かして司会やプログラムの係を作ることが出てきた。運動会で高学年の子どもたちが行っていたことを参考にして「応援団をつくりたい」「キャラクターの旗を作ってふりたい」という意見も出され、活発に話し合いを進めることができた。2回の学級会を通して、めあてに沿って意見を出していくということが、少しずつ分かってきたところである。そして「次は司会をやりたい」と、自分たちで話し合いを進めていくことに意欲を高めている様子が見られる。そこで、今回は、初めて輪番制で司会を行うことにした。子どもたちが満足感を得られるよう、支援していきたい。

(2) 議題選定の理由

1回目と2回目の集会の経験から、「友だちと仲良くなれた」と感じているが、「もっと仲良くなりたい」という声があがってきた。そこで、提案者に聞くと「もっと友だちと仲良くなると、パワー全開になれる」という思いをもっていることが分かった。提案者にとって「パワー全開＝みんなで元気いっばいに何かをやること」と捉えており、みんなで元気に何かをやる必要があると考えている。そこで、これを話し合うことにより学級目標の実現に一步近づくのではないかと考え、この議題を選定した。

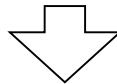
4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5. テーマとのかかわり

テーマ： 夢や希望をもち、よりよい人間関係を築く特別活動

サブテーマ： ~期待感がふくらむ学級会をめざして~



低学年の目指す子ども像：

自分の気持ちを伝えたり、友だちの考えをよく聞いたりして、仲良く活動できる子

教師の思い

自分の考えていることを話せる子は多い。友だちの考えを聞くことについても楽しいと感じているので、自分の考えと比べながら聞くように指導しているところである。同時に、自分の考えと比べることで、違う考えに気付いてほしいと願っている。

また、学級会で話し合うことで、みんなで何か楽しいことができるということも理解し、学級会に楽しさを感じている子も多い。「もっと話し合いたい」「早く集会をやりたい」など、子どもたちの次への意欲をさらに高めていけるように指導を行っていきたい。そのために、まずは司会グループを輪番制にし、全員が司会グループを経験することで、自分たちで話し合っただけという満足感を得られるようにする。次に、議題に対する意見を集めた後、実際にやってみるなどして出ている意見の共通理解をはかっていく。また、学級会コーナーを設けたり、「クラスのあゆみ」を掲示したりし、「次はどんなことを話すのかな」と話し合いへの関心が高められるようにしたい。そして、最後に、みんなで決めたことに向かって頑張ったという達成感を味わってほしい。自分の思いも友だちの思いも大切にできるような子どもに育ててほしいと願っている。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
6月5日 (金) 特活タイム	クラスに議題、提案理由、話合いのめあてを伝える。	○議題の内容を確認し、学級会に向けて統一したイメージをもてるようにする。 ☆教師の力を借りて、学級会に向けて進んで準備をしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月8日 (月) 朝の会 休み時間	議題に対する意見を集める。 意見の集約をする。 「集める」段階の意見の分類・整理をする。 学級会コーナーへ掲示し集めた意見について共通理解をはかる。	○一人一人が自分の考えをもてるようにするために、事前に話合いカードに自分の意見を記入する。 ○自分の意見の説明がクラスに伝わるように準備が必要であれば用意をする。 ☆学級会のめあてと意見を考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月9日 (火) 特活タイム	出ている意見について実際にやってみるなどして確認し、共通のイメージをもつ。	○意見を出した子が説明をし、理解が深まるように助言する。
6月9日 (火) 休み時間	提案者と司会グループと担任で学級会の進め方を確認する。 役割分担に従って進め方を確認する。	○流れを確かめられるように学級会の場面を一緒にイメージしていく。 ☆学級会の進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)

(2) 本時の活動

- ①ねらい 友だちと元気に遊んで仲良くなる内容を決めることができる。
- ②本時の視点 自分の考えや思いをもつことができたか。
実践に向けて、期待感をもって話合いに臨んでいたか。

③活動計画

児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)
1. はじめの言葉	○安心して会が進められるように、進行の内容を事前に確認しておく。
2. 司会グループの紹介	○見通しをもって話合いを進められるように、司会台本を用意する。
3. 議題、提案理由、めあての確認	☆司会グループとしての自分の役割を果たそうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
議題 : 「もっと ばわあぜんかいしゅうかいをしよう」	
提案理由 : みんなで元気に遊べば、もっと仲良くなれると思うからです。	
話合いのめあて : みんなで元気にできる遊びを決	○話合いのめあてを意識しながら話し合ったり、

めよう。

4. 決まっていることの確認

決まっていること

- ・日時 6月19日(金) 1時間目
- ・場所 体育館
- ・プログラム2番でゲームを2つやる。

もっと ばわあぜんかいしゅうかい ぷろぐらむ

1. はじめのことば

2.

3. かんそうたいむ

4. せんせいのおはなし

5. おわりのことば

5. 話し合い

柱1 どんな遊びにするか

- ① (事前に出された)意見を黒板に貼る。
- ② 比べながら、賛成、心配の意見を言う。
- ③ 意見をまとめる。

柱2 どうやると元気になるか

- ・決まった遊びを元気いっぱいにする工夫について意見を集める。

6. 決まったことの確認

7. ふり返りタイム

8. 先生の話

9. おわりの言葉

決定したりできるようにめあてを掲示しておく。

○事前集め、学級会コーナーに掲示してあった意見を黒板に貼る。

○司会グループで学級会を進めることは初めてなので、困っている時にはすぐに支援する。

○司会が話し合いの進め方などでつまづいている時には、みんなに問いかけたり、助言したりする。
☆友だちの意見を認めたり、うなずいて聞いたりしている。

(集団の一員としての思考・判断・実践)

○話し合っている内容がそれてきた時には、めあてや提案理由を意識して話し合ったり、決定したりできるように全員に助言する。

- ・何について話しているのか分からなくなっている時。
- ・心配意見ばかりが出ている時。

○今日の話合いのよかったところ、実践に向けての意欲など、自分の思いをふり返ることができるように声をかける。

○司会グループの頑張っていた点、めあてを達成するための意見、前回の学級会からの高まりなどを中心に称賛し、次の学級会への期待がもてるようにする。

○クラス全体で決められたことを褒め、実践への意欲付けを行う。

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
6月11日 (木) 朝の会	役割分担をする。	○これまでの経験から必要な役割を考え、足りない部分は教師が補うようにする。 ☆必要な役割分担を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月11日 (木) ～18日 (木) 朝の会 休み時間 特活タイム	準備を進める。	○決まった計画を教室に掲示し、本番に向けて取り組めるようにする。 ☆学級の一員として自己の役割を自覚し、実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月19日 (金) 1時間目	「もっと ばわあぜんかいしゅうかい」をする。	○集会でよかったことや準備などの活動を通して、みんなで取り組む楽しさを実感できるようにする。 ☆話合いで決めた内容を理解し、友だちと元気に仲良く取り組んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月19日 (金) 帰りの会	実践をふり返り、ふり返りカードに感想を書く。	○活動についてよかったところや次にどんなことをしたいかを中心にふり返るよう助言する。 ☆活動について、よかったところ、直したいところに気づこうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)

7. 板書計画

<p>だいきかい がつきゅうかい ぎだい もっと ばわあぜんかいしゅうかいをしよう</p> <p>はなしあいたいわけ ともだちと げんきにあそべば もっとなかよくなるとおもうからです。</p> <p>はなしあいのめあて みんなで げんきにできるあそびを きめよう</p> <p>はなしあうこと① どんなあそびにするか</p> <p>ぎゅうにゆうばつくとばし ばくだんげえむ はんかちおとし いすとりげえむ どつちぼおる</p> <p>【きまっていること】 やるひ 6がつ19にち 1じかんめ ばしよ たいいくかん あそびは2つ</p>	<p>はなしあうこと② どうやると げんきになるか</p> <p>・ おおきな こえ ・ はくしゅをする ・ おうえんをする</p> <p>きまつたことのかくにん ふりかえり</p> <p>せんせいのはなし おわりのことば</p>
---	---